

# ドコモ班

高橋寛・清水卓・前川渉・  
小林達也・丹羽令香

## 1.準備に関する感想と反省

今回、私たちは、グループでのプレゼンが初めてという事もあり、実際に取り掛かるまでには、すごく悩みました。前期の終わり頃から、不安を抱えながらの探り探りのスタートでした。夏合宿を経て後期に入り、企業の概況を調べていく中で、一番実感した事が、役割分担の重要さでした。リーダーの私が、分担をはっきりしなかったのが、グループ内でも混乱が生じました。予想以上に時間を要しながらも本格的な動き出しをしました。

## 2.合同ゼミでの報告内容とそれに対する質疑の概要

当日は、「有価証券報告書等による企業の現状」「企業の経営戦略」「企業の将来性」の大きく三つについて発表しました。まずは、有価証券報告書に基づき、携帯業界全体のシェア・ドコモと au のシェアの推移・売上高の比較・売上額のシェア率・利益率の推移・ROE の比較を調べ、グラフに表し、そこからドコモと au の現状を説明しました。

次に、ドコモの経営戦略ですが、ここではとにかくドコモが勝っている点を強調し、それに加え、ドコモのブランド力について述べました。他にも、新料金プランや業務提携などの強みをグラフや言葉で説明しました。

最後に、ドコモの企業理念である、「コンセプトツリー」を掲げ、顧客第一の取り組みを展開しました。時代に先駆けた戦略を出しつつも、企業理念を中心に置き、経営していく方針を説明しました。

## 3.合同ゼミに対する感想と反省

今回の合同ゼミは、私たちにとって大きな経験でした。当日は、不安を抱いていなかったと言ったら嘘になります。自分たちが調べた事をしっかりと発表出来るのか、質疑応答はこなせるのか、などいくつかの不安はありました。しかし、皆が、役割をきちんとなしたので、発表後には、やっと終えたという安心感とともに、やり遂げたという達成感を感じとる事が出来ました。グループでのプレゼンという事が初めてだった私たちにとって、仲間と意見を出し合い、一つのものを完成させるという事は、とても刺激的で良い経験になりました。今、思うと、皆の発表は、自信ができました。

(文責 高橋寛)